

踏まれても踏まれても生き返る

NO.19 2025.2.24

# いたばし雑草通信

編集：発行 木村松夫

090-8646-9757

matsuokimura@gmail.com

メール発信のみの情報紙です。無料購読希望の方はメールでお申込みください。鮮明画像のPDFでお送りします。

## 百均のスマホカメラ用クローズアップ(マクロ)レンズ これが結構使い物になりそう！！

透明なガラスで曲面のあるレンズを覗いていると、違う世界に引き込まれるようで、子どものころからカメラが大好きでした。社会人生活の第一ラウンドを失敗して37歳から53歳までの第二ラウンドは物書きと写真と一緒に「フォトライター」として活動していました。そんなことから、カメラにはこだわりがあって最高級ではなくとも一応レンズ交換ができる一眼レフ以外はカメラじゃないと決め込んでいて、カメラマン廃業後のデジタルカメラ時代は小型でもミラーレスの一眼レフに標準+中望遠のズームレンズと近接撮影ができるクローズアップレンズをもって歩いていました。ところが、最近、それが「重くて、重くて・・・」。

そんな時に「スマホカメラ用のクローズアップレンズは存外に性能が良い」とのネットの記事を読んで、さっそくダイソーに買いに行きました。まずは、それを装着しての撮影テストです。

### 直径 10 mm以下の花もくっきりと撮れた

#### フラサバソウ

葉の淵と裏側、それに花を支える茎にも、草の全体が細かい毛で覆われていて、それが寒気から本体を守っているいるのでしょうか。この10数年間、まだ寒さが続く春前の季節でもいちばん先に花を開かせる野草がフラサバソウでした。



2025.02.22 09:47



2025.02.22 09:47

花自体は薄い青色で、直径数mm、長さ10mmにも満たない小さな種。それを支える葉や茎に細かい毛が見て取れます。

左の大きな写真は写真加工アプリのphotoshopでトーンカーブという画質調整をしたものですが、100円のレンズとは思えない出来栄でした。

## 被写界深度が浅いので、ピントが合った写真を撮るのは苦労する



### オオイヌノフグリ 寄ったり引いたり何回もシャッターを切れば「下手な鉄砲数撃ちゃ当たる」

フラサバソウと同じ仲間、春にはおなじみの野草。フラちゃんよりは大きいけれど、それでも直径10mmあるかないかの花。雄蕊と雌蕊がくっきりと映っていました。被写界深度（カメラのレンズと被写体間のピントが合う範囲）は普通のマクロレンズよりももっと狭く1～5mm程度なので、撮影は近

寄ったり遠のいたり何度も何度もシャッターを切りました。

ちなみに、花の鮮やかな青色は撮影すると色が出にくいものなのですが、これはカメラの性能にもよります。最近のスマホの性能は良くなっているようなので、これからはスマホでいこな～。

ついでに・・・

### 100円マクロレンズが捉えた2月の道端



左から、まだ咲いている秋の花**コセンダングサ**、今頃が盛りのお**オオキバナカタバミ**（エコポリの植物調査では園芸種カタバミは「オキザリス」で一括）、例年よりも早くどこにでも咲きだした**ホトケノザ**